

紹介

◎新刊

獣医学・応用動物科学系学生のための 野生動物学

野生動物の生体機構を深く理解しながら、生態系バランスや生物多様性を保全し健康で健全な環境を維持するための理論や技術を、遺伝子レベルから生態系レベルまで多面的観点で学習するための教科書。

発刊：2013年2月

編者：村田浩一，坪田敏男

著者：浅川満彦，浅野 玄，池中良徳，
石塚真由美，宇根有美，遠藤秀紀，

大沼 学，小倉 剛(故人)，押田龍夫，
片山敦司，岸本真弓，齊藤慶輔，
佐々木基樹，進藤順治，鈴木正嗣，
高見一利，坪田敏男，濱崎伸一郎，
羽山伸一，福井大祐，村田浩一，
柳井徳磨，山口剛士

発行：文永堂出版

B5判・348頁 付録CD-ROM

定価：8,400円(税込) 送料510円

行事等

- 2月6日：獣医師賠償責任保険中央審議会
：緊急災害時動物救援本部会議に矢ヶ崎専務理事出席
- 2月9～11日：平成24年度 獣医学術学会年次大会
- 2月9日：平成24年度 日本獣医師会学会幹事学術分野別懇談会
：平成24年度 日本獣医師会学会学術誌編集委員会

- 2月10日：平成24年度 日本獣医師会学会幹事会議
- 2月12日：第25回 動物感謝デー企画運営委員会
- 2月13日：第3回 関東・東京合同地区獣医師会理事会
に山根会長、矢ヶ崎専務理事出席
- 2月14日：第41回 家畜人工授精優良技術発表会全国大会に山根会長出席
：専門学校東京スクールオブビジネスペットビジネス学科において山根会長講演
- 2月15日：第23回日本獣医師会雑誌編集委員会
- 2月28日：業務運営幹部会議

行事等案内

第36回 獣医疫学会学術集会のお知らせ

日時：平成25年3月30日(土) 9:00～16:00
場所：第155回 日本獣医学会学術集会第6会場
(東京大学駒場キャンパス)
〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1
☎03-5841-5038

内容：

- 1 シンポジウム (9:00～11:40)
「現場データの疫学研究への応用」
- ①「疫学調査におけるデータの取り方
—豚のベンチマーキングを例に挙げて—」
山根逸郎 (動物衛生研究所)
- ②「酪農地域の生産情報の統合と生産情報を用いた疫学研究のススメ —データの入手から解析, 農家と支援者への還元まで—」
中田 健 (酪農学園大学)
- ③「と畜検査データの有効活用 —食検と家保の連携で生産現場に活かす—」
阿部隆司 (新潟県下越家畜保健衛生所)

- ④「家庭どうぶつの保険と、その関連データを活用した予防啓発活動 —飼い主とどうぶつとの絆をどう支えるか—」

島村麻子 (㈱アニコムホールディングス)

- ⑤総合討論

- 2 一般演題 10題程度 (13:15～16:00)

その他：平成24年度 獣医疫学会評議員会 (11:45～12:15) 及び平成24年度 獣医疫学会総会 (12:45～13:15) を開催

問合せ先：

獣医疫学会事務局
〒305-0856 茨城県つくば市観音台3-1-5
(独)農研機構動物衛生研究所 ウイルス・疫学研究領域内
☎029-838-7829
FAX 029-838-7769
E-mail : info@vet-epidemiol.jp
URL : http://www.vet-epidemiol.jp/

日本獣医師会学会学術誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会学会においては、構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者からの学会学術誌掲載の研究論文を随時募集しておりますので、奮ってご投稿願います。

学会では、獣医師専門職をはじめ、獣医学系大学の学生、獣医学関係分野の研究者等が学術研究の発表をされる場として、学会学術誌への投稿原稿を広く募集しています。

日本獣医師会が毎年度開催する獣医学術学会年次大会で一般口演された研究発表等も、是非ともご投稿いただき、誌面での発表をお願いします。

なお、投稿を希望される方は、新たに一部改正された「日本獣医師会学会学術誌投稿規程（本誌204頁）」及び投稿原稿の審査や編集が円滑に行われることを目的に策定された「日本獣医師会学会学術誌投稿の手引き（本誌210頁）」を熟読の上、原稿を作成、投稿されるようお願いします。

募 集

紹介「学会・研究会」の募集

このたび日本獣医師会雑誌では、獣医学関連分野で広く活動を行っている、学会・研究会を読者に紹介し、さらなる獣医学術の発展、獣医療従事者の人材育成に資するよう、紹介「学会・研究会」をシリーズ企画として掲載することといたしましたので、掲載を希望する学会・研究会におかれましては、下記に基づき原稿をご投稿いただきたくよろしく申し上げます。

記

執筆要領：日本獣医師会学会学術誌投稿規程
(本誌204頁参照)

原稿字数：1,000～1,600字以内
(別に写真1枚添付可)

執筆内容：以下の項目を順に記載

- 1 学会・研究会名(英文名)
- 2 事務所所在地(郵便番号, 住所, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス, ホームページURL)

3 目的

4 組織(代表者名, 会員・役員構成(人数を含む))

5 沿革(設立年月日, 設立経緯, 経過等)

6 活動内容と特色(活動状況, 活動への参加方法, 入会の方法を含む)

7 文責者

その他：掲載の可否は日本獣医師会雑誌編集委員会の審査による

募 集

第 25 回日本動物児童文学賞作品募集について

～人と動物との共存(共生)等を扱った作品の募集～

第25回日本動物児童文学賞の作品を下記により募集いたします。

【名 称】

第25回日本動物児童文学賞

【目 的】

この事業は、動物の愛護及び管理に関する法律(昭和48年10月1日法律第105号、以下「動物愛護管理法」という。)の目的及び基本原則等の趣旨に則り、次代を担う子供達が正しい動物福祉・愛護の考え方を身に付けることができるよう、動物の福祉・愛護に関するより良い文学作品を広く募集し、選考・審査の上、入賞作品を日本動物児童文学賞として決定し表彰・公表するとともに特に優れた作品を普及させることにより、児童の健全な育成と豊かな人間性を涵養することを目的として実施する。

【募集期間】

平成25年1月1日(火)～4月20日(土)(当日消印有効)

【募集内容】

読者対象を満6歳以上12歳までの学齢児童とし、動物の虐待防止、動物の適正飼養、人と動物のふれあい、人と動物との共生及び動物福祉・愛護等を扱ったもので未発表の作品であること。(ただし、商業出版を目的としない同人雑誌等への発表は差し支えない。)

【応募規定】

- (1) A4サイズ400字詰め原稿用紙を縦書きで使用する。総枚数40枚以上60枚以内とする。
- (2) 原稿は、原則としてワープロ原稿とする。インク、サインペン、ボールペンでの原稿も受け付けるが、その場合は、丁寧な字ではっきりと書くこと。またワープロ原稿の場合は20字×20行の体裁で印字すること。
- (3) 最初の1枚は応募用紙とし、①タイトル、②応募者の氏名(フリガナ)、③年齢、④性別、⑤職業、⑥郵便番号、⑦住所、⑧電話/FAX番号、⑨E-mailアドレス、⑩主要登場動物、⑪原稿の総枚数、⑫本賞の作品募集を何で知ったかを明記すること。本文は以降のページから開始し、各頁にページ数を印字(明記)すること。なお、上記

個人情報については、「第25回日本動物児童文学賞」に係る事務処理のみに使用する。

- (4) 原稿は本会にて複写するため、ホッチキス、とじ紐などで綴じないこと。

【応募資格】

プロ・アマチュアを問わず、年齢15歳以上の者とする。ただし、過去の本賞における大賞受賞者は対象外とする。

【賞】

日本動物児童文学大賞 1作品 = 30万円
日本動物児童文学優秀賞 2作品以内 = 20万円
日本動物児童文学奨励賞 5作品以内 = 5万円

【発 表】

平成25年9月下旬以降、応募者全員に通知する。

【主 催】

公益社団法人 日本獣医師会

【応募先】

〒107-0062

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階
公益社団法人 日本獣医師会

【問合せ先】

公益社団法人 日本獣医師会事務局

☎03-3475-1695

(応募作品の内容訂正、審査状況に関する問合せは不可)

【著作権・その他】

- (1) 入賞作品の著作権は著作者に帰属するものとする。ただし、本事業に伴い実施する日本動物児童文学賞入賞作品集への掲載及び本会ホームページへの掲載並びに本会の事業において特に必要な場合には、本会はこの作品をいつでも無償で利用できることとする。
- (2) 著作者が入賞作品を出版等する場合には、日本獣医師会日本動物児童文学賞入賞作品である旨を明記することとする。
- (3) 応募作品は返却しない。
- (4) 「日本動物児童文学賞入賞作品集」は切手390円分(送料)を同封の上、本会事務局まで申し込めば希望者に送付する(在庫数に限りがある)。

募 集

日本獣医師会／日本動物看護職協会 連携 「動物看護師」資格認定講座

「獣医さんが解説する動物の病気と管理」

春夏
A日程

当講座は動物看護師さんのための再教育講座で、オンラインでも受講できます。動物看護師統一認定機構による「認定動物看護師」資格の学術実績ポイントを、1講義あたり12ポイント取得できます。

● 感染症コース

(定員：教室 25名 オンライン 40名)

講 義	講 師	教室講義 毎週 木曜日 18:30~20:00	オンライン 講 義	申し込み
動物の感染症	白井淳資 (東京農工大)	4月11日	2013年 4月11日(木) ~ 5月16日(木)	2013年 2月1日(金) ~ 3月31日(日)
ペットの感染症対策	青木博史 (日本獣医生命科学大)	4月18日		
人獣共通ウイルス感染症	水谷哲也 (東京農工大学)	4月25日		
昆虫が媒介する感染症	古谷哲也 (東京農工大学)	5月9日		

● 病気と看護コース

(定員：教室 25名 オンライン 40名)

病気が疑われる動物の症状	清水美希 (東京農工大学)	5月16日	2013年 5月16日(木) ~ 6月13日(木)	2013年 2月1日(金) ~ 4月22日(月)
動物の異常行動	武内ゆかり (東京大学)	5月23日		
動物看護学	太田光明 (麻布大学)	5月30日		
獣医師と動物看護師の関係	福島隆治 (東京農工大学)	6月6日		

● 動物の健康管理コース

(定員：教室 25名 オンライン 40名)

動物栄養学	山本 敦 (ロイヤルカナン)	6月13日	2013年 5月16日(木) ~ 6月13日(木)	2013年 2月1日(金) ~ 5月30日(木)
動物のストレス	渡辺 元 (東京農工大学)	6月20日		
社会における動物医療	島村麻子 (アニコム)	6月27日		
動物福祉と問題点	神田尚俊 (元東京農工大学)	7月4日		

● 受講料

1講義あたり1,000円、1コース(4講義)ごとのお申込みとなります。

お問い合わせ

TEL 03-3208-7866 E-mail : juisan@w-int.jp 担当：保原(ほばら)

運営：早稲田大学 規範科学総合研究所／早稲田総研インターナショナル

内容詳細・お申込みは <http://juisan.org/>